



猪名川町立つつじが丘小学校

学力向上プラン



令和7年10月改

学力向上プラン Ⅰ

～知識・理解・技能などの基礎・基本の確実な定着に向けて～

○ 確かな学力の定着

- ・一人ひとりの言語活動の充実～話す・聞く・書く力の向上～
- ・個に応じた教科書指導～こども理解の共有～
- ・アクティブラーニングの推進
- ・タブレット機器の積極的活用
- ・系統的なプログラミング学習の実施
- ・外国語活動、英語学習の取り組み拡大

○ 朝学習の充実

- ・朝学習として新出漢字の習熟などを進め、国語の授業をたっぷり単元の学習に使えるようにする。
- ・漢字学習教材を全学年で統一し、学年間の漢字学習の取り組み方の違いをなくし、進級ごとに行う指導をスムーズにする。

○ 個に応じた指導の充実

- ・兵庫型教科担任制を活用した指導を実践
- ・個別の支援計画、個別の指導計画の作成
- ・専門家（ＳＣ、ＳＳＷ等）や専門機関との連携

○ わかって楽しい授業の実践

- ・「やってみたい」「またやりたい」と思える授業実践
- ・授業におけるユニバーサルデザイン化の推進
- ・効果的なICT活用

○ 体力アップ事業の積極的活用

- ・様々な運動領域における基礎基本の動きの定着を図る。

学校教育目標

子どもたちのところに、

学び・自信・笑顔の花を咲かせる学校

本校の「学力向上プラン」を以下のとおり定め、本校における全ての教育活動を通じて、全教職員が一丸となって全校児童の学力向上に取り組みます。

「学力」にかかる本校の課題（令和7年度全国学習状況調査結果より）

【国 語】

- ◆資料が複数にまたがる設問では、目的に応じて表やグラフを比べたり関連づけたりすることが難しい。
- ◆与えられた条件を満たしながら、自分の考えを論理的に述べることが難しい。

【算 数】

- ◆2種類のグラフを比較して読み取る設問では、グラフの数量が何を表しているのかを読み取ることが難しい。
- ◆面積の求め方を説明する設問では、式や答えは分かっているにもかかわらず説明を書くことが難しく、正答率が低い傾向が見られた。

【理 科】

- ◆身の回りの金属について、「電気を通す物」、「磁石に引きつけられる物」があることの知識が身に付いているかどうかを見る問題において、正答率が大幅に下がった。
- ◆レタスの種子の発芽条件について、差異点や共通点を基に新たな問題を見だし、表現することができるかどうかを見る問題で、無回答率の高さが目立った。

【質問紙調査より】

- ◆わからないことやくわしく知りたいことがあったとき、自分で学び方を考え、工夫しようと思う児童が少ない。
- ◆自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う児童が少ない。
- ◆学校以外で1時間以上学習する児童が少ない。

「家庭学習」の充実に向けて

○ 家庭学習の習慣化により、学習内容の定着を図る（目安：学年×10分＋α）

- ・全学年、毎日宿題を出す（漢字・計算・音読・その他）
- ・高学年は、自主学習に取り組ませる

めざす児童像

- 楽しく学びに向かう子
- 言葉を大切にする子
- 自分の夢を持つ子、語れる子
- 集団の中で輝く子
- 自分を大切にする、相手も大切にする子
- 地域を愛する子

学力向上プラン 2

～「言語活動（読むこと）」の充実に向けて～

○ 読書教育の充実

- ・毎学期、読書週間の実施
- ・授業における図書資料の活用
- ・「読んでみよう本」の作成、活用
- ・図書ボランティアによる本の読み聞かせ

○ 階段掲示板を用いた児童作品の掲示と鑑賞

学力向上プラン 3

～地域や家庭とつながる学校づくり～

○ 地域とともにある学校づくりの推進

- ・コミュニティスクールの推進
- ・学校評価の実施と速やかな対応
- ・ゲストティーチャーの活用
- ・積極的なオープン参観の実施

○ 保護者・地域への情報発信と連携

- ・学校だより、HP等の充実
- ・地域人材の発掘、連携
- ・応援団活動の拡充
- ・地域行事への参加

学力向上プラン 4

～学習基盤の確立に向けて～

- 授業規律の徹底（学習準備・挨拶・姿勢・聞く態度）
- 統一した教室環境（『学習のきまり』の掲示）
- 授業開始終了時刻の徹底
- 学習集団の認め合い学び合い